

# E119

## TCM：トータルコストマネジメント - プロジェクト の進捗と成果の測定について

(コスト工学研) (正) 齋藤義己

本論文は米国 AACE International で誕生した TCM: Total Cost Management Framework の中の一つです。

1. 目的 プロジェクトの進捗と成果の測定は、支出またはプロジェクトに関する貨幣以外の資源の現状を測るプロセスである。

2. 進捗と成果の測定計画 計画で最初の計画している当初プロジェクト・スコープおよび実行戦略開発プロセス(7.1)およびプロジェクト管理計画実施(8.1)の間の管理会計の展開を通して続ける。

### 3. 進捗の物理的測定

(a) 完成した単位 (b) 徐々に増加するマイルストーン (c) 完成した重量割合または相当の単位 (d) 資源支出(効果のレベル) (e) 判断

4. 資源の追跡 アード・バリュー成果の評価を支援する物理的な進捗測定に加えて、資源調達と資源取扱いの状況は生産性分析を支援するために追跡され、予測と変更マネジメントを支援し、そしてリスクマネジメント・プロセスで確認した資源リスク因子を追跡する必要がある。

(a) 労務時間 (b) 材料マネジメントおよび製作

5. 測定のワークプロセス成果 測定のワークプロセスとしてはプロジェクト管理、材料コスト会計、

ワーク・サンプリング、安全検査プロセスおよび品質マネージメント・プロセス等がある。

5. 現状スケジュール 労務および材料資源を追跡するとき、時間の資源が追跡されるべきである。

6. 進捗のチェックと成果測定 プロジェクト管理の機能は、プロジェクト進捗と成果測定の基準が適切で、調整でプロジェクト管理計画、管理およびコストで説明するように定期的に確認される。

7. 進捗と成果測定の報告 再検討の後、測定情報は、成果評価プロセスに報告される。情報は、アード・バリュー成果評価物理的な進捗測定を包含する、作業生産性およびプロセスの改善評価に対する作業のサンプリング測定、作業を予測する現在の現状データはすでに完成される。

8. 進捗と成果測定への入力 (a) プロジェクト実施の基礎 (b) プロジェクト管理計画および管理会計 (c) プロジェクト・コスト会計計画 (d) ワーク、供給源およびプロセス(e) 変更(f) 過去のプロジェクト情報

9. 進捗と成果測定からの出力 (a) プロジェクト管理計画および管理会計 (b) プロジェクト・コスト会計計画 (c) 測定基準に対する修正 (d) 企業供給源計画に対する情報 (e) プロジェクト・

コスト会計に対する測定情報 (f) 成果評価に対する測定情報 (g) 変更マネジメントに対する現状情報 (h) 過去のプロジェクト情報  
10. まとめ プロジェクトの進捗と成果の測定はいかにまた適切にまた正確に進捗を測定すかに関わってくる。

[参考文献] Total Cost Management Framework, AACE

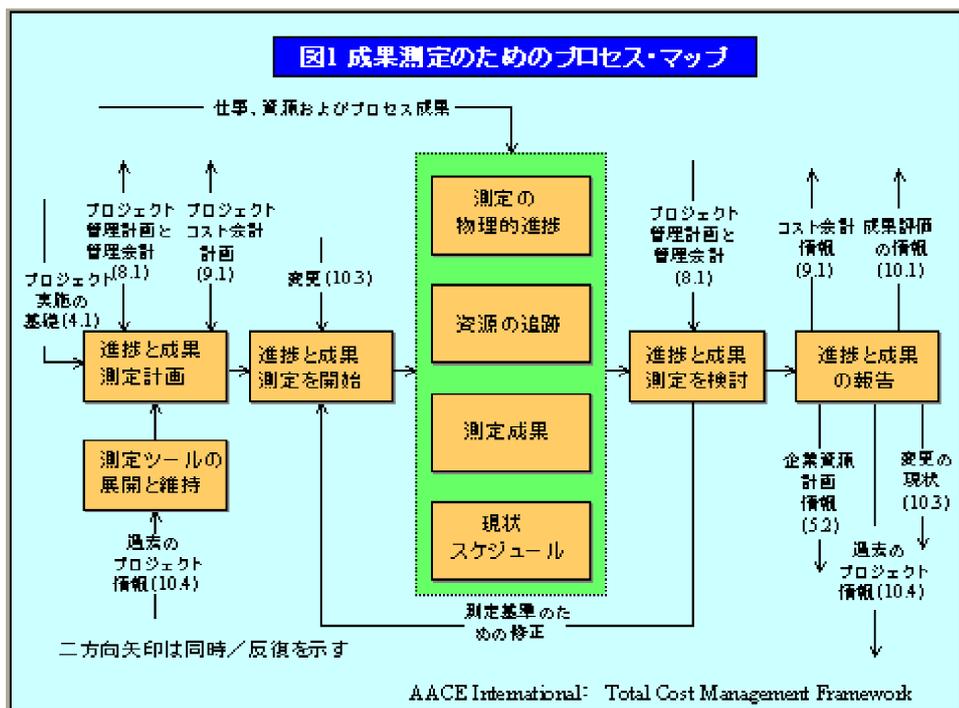


図1 成果測定のためのプロセス・マップ

\*E-mail: yoshimi\_saito@pop06.odn.ne.jp